

1985. 12. 19

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 325

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
広報教育室 (TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. システム変更及び試行サービス期間について	1
2. 新システムの利用負担金の取扱い及び入出力サービスの一部 中止について	2
3. ベクトルプロセッサの使用について	3
4. ジョブ制限値の変更について	7
5. 保存データセットのマイグレーションおよびバックアップの 注意について	8
6. 「オンライン・データベース利用ガイド(第5版)」の発行 について	9
7. カード保管棚の整理について	9

1. システム変更及び試行サービス期間について

先般、センターニュース (No. 317) でお知らせしていましたが、ベクトルプロセッサ (VP100) の導入に伴い、現行システム (M382) を新システム (M380S+VP100) に変更し、61年1月6日(月) から新システムでの運用を開始します。

ただし、1月6日(月) から1月11日(土) までは、下記の日程等により新システムの試行サービス期間としますのでご利用ください。

記

1. 運用時間帯

(1) 1月6日(月)

12:00から19:00まで

- (2) 1月7日(火)から10日(金) 9:00から19:00まで
- (3) 1月11日(土) 9:00から17:00まで

2. 制限事項

- (1) 1月6日(月)から1月10日(金)までは、TSSからの出力は19時以降消去する。
- (2) 1月11日(土)は、17時以降すべてのジョブを消去する。
- (3) 障害等の発生により、やむを得ない場合は、途中打切ることがある。

2. 新システムの利用負担金の取扱い及び入出力サービスの一部中止について

昭和61年1月6日から運用を開始します新システムでの利用負担金の取扱い及び入出力サービスの一部中止は次のとおりです。

1. 利用負担金については、当分の間、現行の規定を適用します。従って、演算負担金は、SP(M380S)とVP(VP100)の演算時間を通算して1件のCPU時間(1秒未満は1秒に切り上げる)が
5分までは1秒につき 5円
5分を超え15分までは1秒につき 3円
15分を超える場合は超える部分1秒につき 1円
となります。

2. 入出力サービスの一部中止について

- ・カード出力サービスを中止します。
- ・LPはすべてNLP(レーザプリンタ)になります。
- ・文字の多重プリントができなくなります。
- ・SORP端末(136文字×66行画面端末)が使用できなくなります。

ただし、このパラメータは省略可能で、省略すると各ジョブクラスの制限値となる。

3) VPFORTでは、科学技術計算用ライブラリSSL II/VPが自動的に組み込まれる。

I. VPジョブの実行

1) TSSで翻訳、結合編集を行い（ロードモジュールの作成）、そのロードモジュールを実行するVPジョブのJCLをsubmitする。ライブラリとしてSSL II/VPを使用する。

```
FORT77 EXAM VP
LINK EXAM LOAD(EXAM, LOAD(AAA)) LIB('SYS1, SSL2VP') FORTLIB
```

submitするVPジョブのJCL

```
//F9999AV JOB パスワード, CLASS=B
// EXEC VPGO, PROG=AAA, LOADDS='F9999, EXAM, LOAD'
//GO, SYSGO DD *
      (データ)
//
```

2) 翻訳、結合編集、実行をすべてバッチジョブとして行う。

```
//F9999AV JOB パスワード, CLASS=B
// EXEC VPFORT
//PORT, SYSIN DD DSN=F9999, EXAM, FORT77, DISP=SHR
//LOADGO, SYSIN DD *
      (データ)
//
```

3) 拡張領域(AEオプション)使用のジョブをバッチジョブとして実行する。

```
//F9999AV JOB パスワード, CLASS=F
// EXEC VPFORT, OPTION=AE
//PORT, SYSIN DD DSN=F9999, EX, FORT77, DISP=SHR
//LOADGO, SYSIN DD *
      (データ)
//
```

II. MSS上のデータセットの使用

専用MSSボリューム上のデータセットは、VPでは直接アクセスできないので、ディスク(DASD)上に転送しておく必要がある。

例. MSS上のデータセットMSS1. DATAをDASD上にDASD2. DATAとして複

写する。

TSSの時、

```
COPY MSS1. DATA DASD2. DATA
```

バッチの時、

```
// EXEC PSCOPY
//SYSUT1 DD DSN=F9999. MSS1. DATA, DISP=SHR
//SYSUT2 DD DSN=F9999. DASD2. DATA, UNIT=PUB,
// DISP=(NEW, CATLG), SPACE=(TRK, (20, 20), RLSE)
//
```

なお、MSSとWORK（一時データセット用）ボリュームとの間のデータセット転送用カタログ
ドプロシジャMSSTOWK, WKTOMSSを用意したので、これを使用してもよい。

1) MSS上のデータセットMSS. DATAをWORK上に転送して実行する。

```
// EXEC MSSTOWK, IN='F9999. MSS. DATA', OUT='&&MSS'
// EXEC VPPORT
//PORT, SYSIN DD DSN=F9999. EXAM. PORT77, DISP=SHR
//LOADGO, SYSIN DD *
// (データ)
//LOADGO, FT01F001 DD DSN=&&MSS, DISP=SHR
//
```

2) WORKに書き出したデータをMSSボリュームMSS001上のデータセットMSS2. D

ATAに保存する。

```
// EXEC VPPORT
//PORT, SYSIN DD DSN=F9999. EXAM. PORT77, DISP=SHR
//LOADGO, SYSIN DD *
// (データ)
//LOADGO, FT02F001 DD DSN=&&TOMSS, UNIT=WORK,
// DISP=(NEW, PASS), SPACE=(TRK, (100, 100))
// EXEC WKTOMSS, IN='&&TOMSS', OUT='F9999. MSS2. DATA',
// MSSVOL=MSS001
//
```

Ⅲ. 自動マイグレーションされたデータセットの使用

マイグレーションされたデータセットをVPで使用するときには、基本的には前もってDASD上
に戻して（リコール）おく必要がある。しかし、センターで自動リコール機能を用意したので、VP・

V. 主記憶ファイル (V I O / F) 入出力機能の使用

一時データセットに対する入出力処理を、主記憶領域間での直接的なデータ転送として行うため、高速な処理が可能である。

1) 対象入出力文

書式なし順次/直接入出力文、ファイル位置づけ入出力文、OPEN文、CLOSE文

2) 使用法

主記憶ファイルをDD文で以下のように定義する。

例. //FTnnFOOI DD SUBSYS=(VPCS, 'SPACE=m')

ここで、nn : 装置参照番号,

m : スペース量 (単位MB)

ただし、この領域は拡張リージョンに確保されるので、ジョブクラスはFを指定する。また、複数指定も可だが、スペース量の合計が、拡張リージョンサイズの制限値を越えることはできない。

4. ジョブ制限値の変更について

ベクトルプロセッサの導入に伴い、昭和61年1月6日よりM380S, VP100システムのジョブクラスとジョブ制限値は以下ようになります。

表1. M380S ジョブクラスと制限値

適用ジョブ	ジョブクラス	CPU時間	リージョン サイズ		拡張リージョンサイズ	ライン プリンタ		XYプロッタ		ファイルアクセス	端 末 接 続	図形文字パターン数
			標準値	制限値		出力枚数	出力行数	紙 長	使用時間			
パ ッ チ ジ ョ ブ	標準 ジョブ	A	分2	KB 1024	KB 5120	0	枚 60	行 4000	m 1	分 10	回 6000	100000
		B	10	1024	5120		200	12000	5	30	20000	
		C	30	1024	5120		300	18000	10	60	40000	
		E	60	2048	5120		300	18000	10	60	100000	
	AE ジョブ	F	60	2048	2048	16	300	18000	10	60	100000	
	要害査ジョブ	D	他のジョブクラスの制限を超えるもの									
M T ジ ョ ブ	OPEN STATION	N	5	1024	5120	0	200	12000	5	30	60000	
	CLOSED STATION	L	5	1024	5120		200	12000	5	30	60000	
	GRAPHIC JOB	G	10	1024	5120		200	12000	5	30	80000	
T S S	NOAE TSS		10	2048	5120			12000	5	30	80000	240
	AE TSS		2	2048	2048	16		12000	5	30	80000	30

表2. VP-100 ジョブクラスと制限値

通用ジョブ		ジョブクラス	CPU時間	基本	拡張	ライン プリント		XYプロッタ		ファイルアクセス	図形文字パターン数
				リージョンサイズ	リージョンサイズ	出力枚数	出力行数	紙長	使用時間		
バ ッ チ	標準ジョブ	A	分2	MB 5 (変更不可)	MB 0 (変更不可)	枚 60	行 4000	冊 1	分 10	回 6000	100000 パターン
		B	10			200	12000	5	30	20000	
		C	30			300	18000	10	60	40000	
		E	60			300	18000	10	60	100000	
	AEジョブ	F	60	2	10	300	18000	10	60	100000	

なお、Fジョブは両システム共、JOB文のTIMEパラメタでCPU時間2分以下の指定 (TIME=2) を行うと、他の制限値がAジョブと同じになり、Fジョブより優先的に処理されます。M380Sシステムのジョブの依頼方法は従来のM382システムと同じです。VP100システムにジョブを依頼する時は以下の変更がありますのでご注意ください。

- ・依頼できるジョブクラスはA, B, C, E, Fのみで、それ以外のクラスを指定すると SUPPLEMENTAL JCL ERR CODE=14 となります。

5. 保存データセットのマイグレーションおよびバックアップの注意について

すでにセンターニュースNo. 320でお知らせしましたように、センターでは下記の条件のいずれかを満たすデータセットを自動的にMSS (マスマストレージ) へ移動する処理 (自動マイグレーション) を行っています。

- ① 前回使用した日から180日以上参照していないもの
- ② 30日以上参照していないもので、以下の式が成立するもの

$$\text{スペース量 (トラック数)} \times \text{前回使用した日からの経過日数} > 600$$

また、共用ボリューム上の保存データセットは毎日バックアップしていますが、その時使用していたデータセット、およびバックアップ後にRENAMEしたデータセットについてはバックアップされませんので、バックアップを確実にするにはHBACKDSコマンドを入力してください。

(HBACKDSコマンドの入力例)

HBACKDS データセット名

なお、バックアップ版は、実データセットを消去 (RENAMEも同じ) した後、60日で削除されますのでご注意ください。

また、マイグレーションによってFLISTコマンドのレスポンスが悪化しておりますが、次のオペランドを指定すると、マイグレーションされたデータセットが処理対象外になりますので、起動時間を短縮することがで

きます。

FLIST * VOL (→MIGRAT)

(業務掛 電 (内) 2518)

6. 「オンライン・データベース利用ガイド(第5版)」の発行について

7 大学の全国共同利用大型計算機センターでは、それぞれデータベースのオンライン・サービスを行っており、利用者は交換回線(電話)あるいはコンピュータ・ネットワークなどを介して手近な端末からどのセンターのデータベースでも利用できるようになっています。この利用ガイドは、各センターのデータベース・サービスの概略と簡単な利用法について解説したものです。このたび第5版が発行されました。ご希望の方は共同利用掛までお申し出ください。

(共同利用掛 電話(内) 2505)

7. カード保管棚の整理について

公衆電話横等に備付けているカード保管棚の整理を12月末に行います。カード保管棚の利用期限(受付日より6カ月)が切れたまま利用されている方は、12月25日までに切り替え手続きを2階受付で行ってください。なお、期限切れになったカード保管棚のカードは、2階入出力室内で1カ月間保管したあと廃棄処分致しますので御了承ください。

(業務掛 電話(内) 2517)